

資格認定委員会より

1. 認定委員会について

平成28年度の3回目の委員会が8月27日に開催されました。同年7月13日までに受け付けた605件について審査し、484件が合格、105件が保留、16件が不合格となりました。この結果を受け、9月末日時点の初回審査件数は2,133件、総審査件数は2,179件、合格件数は1,992件、取得者は1,839件となりました。この時点での取得者合計は51,098名となりました。

今後の認定委員会の開催予定日は10月15日(土)、12月10日(土)、平成29年2月18日(土)です。

2. 認定心理士(心理調査)について

現在のところ、カリキュラムの検討申請のあった大学は44校、55件となっています。8月27日の認定委員会において9件について検討し、残りについては10月15日の認定委員会で検討することになっています。申請件数が多いため、10月15日の委員会は、従来の認定作業は行わずに、大学からのカリキュラムの検討のみを行うことにしています。実際にカリキュラムの認定作業を行って見て、そ

の作業量が膨大であることは予測できていたことでしたが、認定に必要なすべての科目のシラバスをチェックすることになって、認定委員の先生方から科目名とシラバスの内容の間に齟齬があるのでは、と疑義が呈され、判断に苦しむものが出てきました。この点は、当初予定しなかった問題点でした。さらには細かな点で、5年間の経過措置について確認しておく必要も生じました。そこで平成28年10月5日に第7回心理調査士資格小委員会を開催することにしました。そこでの議論を踏まえ、「移行措置として5年間を目途とし、経過措置として副次主題科目をもって基本主題科目とみなすことを認める」という点について、認定心理士の認定と一致させ、認定する単位数は副次主題としての単位数のままであることを確認しました。また「1. 概論」の領域には、調査、実験、観察、面接などの中から3つ以上を含み、さらには倫理について触れられていることを求めることとし、「3. 実践」の領域では、1年を通して4単位のゼミ形式の授業があったとしても、報告書の一つ課だけのものについては2単位を認めることとしました。

3. 「認定心理士の会」について

平成28年9月17日(土)に立命館大学大阪いばらきキャンパスで「実践! ころを支える心理学—メンタルヘルスを維持・増進するための心理学ワークショップ—(関西ワークショップ)」が開催されました。参加者は88名でした。参加者へのアンケート調査によれば四分の三ほどの人が認定心理士の会に既に入会しており、認定心理士を対象にした講演会、ワークショップに参加したいと希望していました。このことから今期に立ち上げられた「認定心理士の会」の存在意義が高いことがうかがわれました。職業を尋ねる欄に記載されたものは多様でしたが、いずれも心理学との関連が深いとの認識があるようで、周辺領域を専門とする多くの方が心理学に大きな期待を寄せているようでした。

現在「認定心理士の会」の会員数は2,791名となっています。認定心理士の横のつながりができ、心理学の知識を広められるように、平成29年度に開催する認定心理士向けの活動を現在企画中です。

(日本心理学会認定担当常務理事・日本大学教授 横田正夫)

編集後記

多様な文化の人々が盛んに交流し、世界が身近になる一方で、各地で自文化中心の様相が強まっているようにも感じられます。異なる文化に向き合い、どのような行動や思考をする傾向にあるか、その行動や思考をするのはどうしてだろうか、と考えることで、多少でも互いを理解することに近づけたらと思います。察しの言語といわれる日本語の言語行動に関心を持つ者として、その良さと課題を改めて感じる機会となりました。(柏崎秀子)

編集委員(五十音順)

編集委員長
副委員長
委員

川口 潤	名古屋大学
大久保街 亜	専修大学
岩壁 茂	お茶の水女子大学
漆原 宏次	北海道医療大学
柏崎 秀子	実践女子大学
河原純一郎	北海道大学
小森 政嗣	大阪電気通信大学
下津 咲絵	京都女子大学
旦 直子	帝京科学大学
手塚 洋介	大阪体育大学
樋口 匡貴	上智大学
脇田 真清	京都大学霊長類研究所
宮谷 真人	広島大学

担当常務理事

心理学ワールド [76号] 2017年1月15日発行

年4回発行(1月, 4月, 7月, 10月)

発行人—長谷川 壽一

編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953

表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—新日本印刷

制作—(株)新曜社